

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大腸炎診断のための人工知能搭載モデルの精度検証

1. 研究の対象および研究対象期間

2024年10月1日から2027年9月30日に昭和大学横浜市北部病院、消化器センターで血便、下痢の症状があり、大腸内視鏡検査を受け、大腸炎と診断を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

大腸炎は原因により治療法が違います。とくに潰瘍性大腸炎という病気は、一度診断されると、生涯服薬が必要になります。しかし、潰瘍性大腸炎と他の大腸炎を見分けるのはとても難しいです。そこで、人工知能を活用して、潰瘍性大腸炎と他の大腸炎を見分けるシステムを開発しました。本研究では、大腸炎と診断をうけた患者さんの診療録から内視鏡画像や病理画像、臨床情報を収集し、開発したモデルが、正しく診断できるかを検証します。通常の診療の範囲内で記録された情報のみを用いますので、研究のために、新たにご負担をおかけしません。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

内視鏡画像、病理画像、最終確定診断名

年齢、性別、身長・体重

症状：血便の有無、便の性状、便回数、腹痛の有無、発症日

原疾患の治療歴：現在までに使用した治療薬の名称及びその中止理由(当てはまる場合)

合併症：有・無、疾患名

既往歴：有・無、疾患名

服薬している薬の名前、これまでに患ったことのある病名
5．外部への試料・情報の提供 該当いたしません
6．研究組織 研究機関名 昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 氏名 小形典之
7．お問い合わせ先 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属： 昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 氏名：小形典之 電話番号： 045-949-7265